

◆スピーチ

成沢善次郎君

今後の石炭販買会社の進路と一般家庭の燃料がどう変化しているかについて説明をしたい。本論に先立つて炭鉱の状況、1. 生産について、2. 労務者数について、3. 閉山について、4. 努力については図表(図表について説明あり)のようにエネルギー革命は石炭の需要構造を大きく変化させている。石炭の横ばいに対し重油は2割以上、天然ガスは4割以上の伸びを示している。政府のこれ対策をもつてしても時代の流れは如何ともなし難い状況であつた。都市ガス原料構成は石炭5重油5であつたのが石炭4、原油3.5、天然ガス2.5となつた。石炭よりは原油、原油よりは天然ガスと価格が安くなつていたので自然に安い原料が使われる理である。石炭メーカーは現況に対処するため、1.原料炭のウェートを高める。2.重油L.P.G.を取扱う。3.土地、観光事業、セメント製造等多角経営に乗りだした。北炭の松島炭鉱は8割まで原料炭に切換え、又杭内ガスを利用して発電をし合理化により単価の引下げに成功し利益をあげている、各炭鉱とも合理化と新しい開発が計られ新しい日本の産業に生れ変わりある。家庭燃料には従来のものにL.P.G.が加えられた。経済的でないが無ガス都市や自動車用として近代燃料のトップとして更に今後も伸びが期待される。石油コンロ用として無ガス都市に使われた石油、灯油はL.P.G.の進出によつて押えられている。新しい冬の暖房としてポータブル式石油ストーブが登場し東京大阪地区の住宅、秋の終りの北海道の補助暖房として広く使われているので相当量の灯油が消費されている。又北海道向として大型ポット式ストーブが出現し増産されているが価格や燃料費が石炭等よりは高いようである。石油ストーブは扇風機の製造数量と一致する程の生産量であつてこれらに消費される灯油は石炭豆炭の消費量の伸びより大きくL.P.G.に次いでいる。家庭での経済的な燃料器具は米国製のスターマケツクコールヒーターであると思う。石炭ストーブと異り自動式であり、大型油の温風ストーブと違い器具費、燃料費とも約半分ですむ特質がある。今後の石炭営業者は燃料革命に伴いあらゆる燃料と器具とを研究し、エネルギー供給会社として需要家の満足が得れるよう心掛けなければならない。

◆出席報告 会員数 30名 出席 21名 他ク出席 2名 計 23名 (76.67%)

次回以降の卓話として、次の方々が予定されております。

山内一雄君 青柳喜一君 奥村順司君 戸栗力君

次回例会日 9月30日



The Weekly Report of Hakodate North R. C.

このマークを真に光らせよう



三森山

深瀬 会員画

通算 第15号
1964~65 - 9 - 16
函館北ロータリークラブ

第14回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

- ◆司 会 新 会長 ◆齊 唱 ♪手に手つないで♪
- ◆ピジター 原忠雄君他13名(函館R.C.) 富田恭君他8名(函館東R.C.)
- ◆会長挨拶並に報告

①国際奉仕委員長に代り報告します。先般行われたドイツ副領事ルドウイツヒ・ハーバー氏遭難90年追悼式に対し、ドイツ大使ヘルベルト・デイトマン氏より、当クラブ宛に感謝の書面が参りました。彼の甥であるフリッツ・ハーバー博士は、空中よりの窒素固定でノーベル賞を受けた方であり、本日はそれにちなんで、後程飯田紳生会員より「ハーバー法」の解説をお願いすることにしたい。

②358地区大会に出席して来ましたが、参加者632名、家族108名、地区外70名を加え合計810名で、前景気に増した盛況でした。ホスト・クラブが1年前から準備しただけあつて、会の運び、会の内容、会場(市民会館)の施設等、実に立派でした。

R. I. 会長代理としてイギリスのハーリー・トンアソン氏夫妻が来られ、大会に対しメツセージが読まれ、翻訳した冊子もいただいて来ました。又奨学金制度による台湾の研究生、アメリカの女子高校生、旭川のインターアクト・クラブの代表者の出席があり、国際色を添えていました。第1日目の講演は小樽商大の加茂学長で、レオナルド・ダ・ビンチのお話があり、第2日目は記念講演で、358地区(東京)のバスター・ガバナー中村米

平氏がロータリーについて話されましたが、名講演で、満場深く感銘を受けた様でした。私は富田特別代表と共に、主としてクラブ・サービス部門の研究会に出席しましたが、トンプソン氏は各部門に出て指導的発言をされていました。

この大会に出席して感じたことは、各クラブの会合で欠席が少く、クラブを中心によくまとまっていることでした。当クラブでは最近欠席が増えた様に思われるので、会員各位の特段の努力をお願いしたい。尚来る22日にアンゼンブリーを行い、大会の詳細を報告したいと思うので、全員の出席をお願いします。

◆ハーバー法について

飯田神生君

フリッツ・ハーバー (Fritz Haber) は世界で最初にアンモニア合成を工業化した化学者である。1904年に Badische Anilin u. Soda Fabrik 会社が彼を支援し、カール・ボツシュ (Carl Bosch) が協力し、1913年アンモニア生産に着手した。1914年ドイツのカイゼル・ウイヘルムが、アンモニア合成工場の完成により爆薬用の硝酸が合成される自信を持ったことが、第一次世界大戦を決意させたと言われている。ドイツは戦争に敗れたが、アンモニアを原料とする硫酸、尿素等の肥料の生産は、世界に大きな貢献をした。

ハーバー法は協力者の名を入れ、Haber-Bosch 法と呼ばれる。アンモニア合成は、窒素と水素を 1:3 の割合で混合したガスを圧縮して、合成塔中の触媒の層を通し、高温 (550 C) 高圧 (200気圧) の下で化合させる。即ち $N_2 + 3 H_2 = 2 NH_3$ である。

この法の特許は、敗戦により没収されたが、そのためクロード法、カザレー法、ファウザー法、ウーデ法等、次々と合成法が発達して行つたのである。何れにせよ、アンモニア合成工業の始祖としてのハーバーの名は永遠に讃えられるべきものである。

◆幹事報告

例会日変更 釧路R.C. 9月24日 (木) を25日 (金) に

例会中止 東京神田R.C. 9月24日はチャーター伝達式のため

◆ニコニコ箱

①当クラブのルールを次の様に定めます。

金賞 1,000円 銀賞 500円 銅賞 200円

②大田秀雄君 お誕生日おめでとう。

③横山桂太郎君 退院おめでとう。

④9月18日オール・ライオンズ・クラブとオール・R.C. のゴルフ大会が行われます。奮って参加され、当クラブの意気を示していただきたい。

◆出席率 (前回分) 会員数30名 出席16名 他々出席6名 計22名 (73.3%)

次回 (9月30日の卓話) 戸栗力君 大田秀雄君

次回例会日 10月7日

The Weekly Report of Hakodate North R.C.



第2回クラブアッセンブリー

通算第16号
1964~65-9-22

会場
はこだてまんじょん
18.00 ~ 21.25

函館北ロータリークラブ

R.I. 会長 Charles W. Pettengill 氏の方針
ロータリーに生きよう (LIVE ROTARY)

ロータリーを分ち合うことにより あらゆる職業関係において
地域社会の指導的任務を通じて 国際親善を通じて

◆司 会 新 会長

◆斉 唱 〃それでこそロータリー〃

本日のテーマ 当クラブの出席について

◆出席者

新 遠藤 塚田 酒井 森 飯田(貢) 北村 大田 奥村 野村
木屋 神原 鈴木 成沢 水上 深瀬 立花 横山 山内 杉本
船矢 戸栗 成田 (23名)

◆会長挨拶

最近当クラブの出席率が低下している。前回までの平均は87%である。地区大会で、各クラブが出席を真剣に考えていることを痛感して来た。大会にはR.I. 会長代理J.H. トンプソン氏のメッセージがあつた。私は富田特別代表と共にクラブ奉仕のA部門に出席した。リーダーは真崎バスター・ガバナーであつた。結局重点は食事と話であり、如何にロータリーの集いを楽しいものにするかと言うことになる。

当クラブでは現在会員が交互にスピーチをやつて、お互を知り親睦を深める絆となつてはいるが、会員が多くなると全員が完了するのに多くの日数を要する。そこで私は「バード・セッション」方式 (一つの題につき一度に数人が話し合う) が良いのではないかと考える。能率的で面白いと思うのでプログラム委員に一考をお願いしたい。

もう一つはロータリーソングに熱を入れて貰うこと。大きな声を出すのは衛生上も好ましく、面白くないことがあつてもそれで発散出来る。スピーチで時間が余ればロータリーソングをやりたい。リーダーは深瀬会員にお願いする。